

町の情報発信能力を高めるべきでは

森 巨 議員 (自民新政会)

町長 研究の場を持ちたい



26年度 9千人の方が訪れた「さやま花多来里の郷」

質問 現在、わが町には、海外留学奨学金制度、全小中学校芝生化推進などの先進的公共事業の取組みや、高い技術力を有する企業及び個人が存在している。また、長期総合計画や回廊計画、協働のまちづくりを推進しているが、住民への周知は十分とはいえない。この要因は、町の情報発信能力に課題があるからではないか。そこで、町長に3点伺う。

問① 現状の分析と課題は。

町長 広報、HP、メール配信などの情報発信をしてきたが、どの手法も一長一短があり、生活サイクルにあった手段が必要と感じている。

問② マーケティングの必要性は。

町長 行政としての戦略的な情報発信と情報収集については、情報を受ける側の必要性を見極め、地域資源としての人材、団体の諸活動、地域の話題などを収集整理していくことが大切と考える。

問③ 今後の取組みは。

町長 民間アドバイザーによる庁内研修を開催し、研究の場を持ちたい。

町長が目指す教育とは何か

町長 価値観を形成するための考える力を養い、誇れる生き方を学ぶ場であって欲しい。

こんな質問もありました

町長が目指す教育とは何か

町長 価値観を形成するための考える力を養い、誇れる生き方を学ぶ場であって欲しい。

新教育長の教育方針を問う

近藤 浩 議員 (改革みずほの会)



壇上で答弁する新教育長

質問 学校教育は、町としても重要課題の一つであると考えます。学校教育においては、学力向上、少人数指導、豊かな人間教育、いじめや不登校問題、家庭

教育長 学校教育など課題も多い。このたび、新しい教育長が就任されたが、これからの町の教育についてどのような方針で臨むのか、教育長の所見を伺うものである。

教育長 学校教育では、「人権尊重と社会貢献の精神の育成」「確かな学力の育成と個性や創造力の伸長」「安全な学校と信頼される教育の確立」を基本方針として取り

組んでいる。この基本方針に大きな変更はないが、施策を推進する段階では、より有効な方策に見直す柔軟性を持って取り組む。教育制度改革の議論が進んでいるが、児童・生徒の教育機会の確保と教育力の向上を踏まえた上で、教育長としての責務を果たしたい。

こんな質問もありました

「みずほフロンティア」をさらにアピールするべき

町長 都庁や拝島駅などでPR活動を行う予定。

元狭山地域 国道16号沿線の整備構想について

谷 四男美 議員 (住民と自治の会)



町長 基盤整備のあり方は今後の研究課題としたい

質問 町の都市計画マスタープランの全体構想では、国道16号入間市境から八高線までは沿道サービスゾーンとして位置づけられている。都道219号交差点から八高線までの国道16号南側は、現在市街化調整区域であるが、将来都市構造図では、田園ゾーン、田園住宅ゾーンともされている。16号沿道サービスゾーンの位置づけとともに、今後どのように整備されていくのか伺う。

町長 この地域は農業振興地域に指定され、市街化調整区域となっており、地方自治体や農業従事者の意向、都市構造の変化に合わせて変更するのは容易ではない。国道16号

沿線を、工業流通ゾーンからなる新市街地軸を形成するという構想は、今後の町の経営戦略に欠かせないものであるが、実現には各種の制約を解決し、関連施策を推進しなくてはならない。土地区画整理事業の進捗状況や社会経済情勢を踏まえ、基盤整備のあり方は今後の研究課題としたい。



国道16号南側 (大型商業施設付近)

道16号南側は、現在市街化調整区域であるが、将来都市構造図では、田園ゾーン、田園住宅ゾーンともされている。16号沿道サービスゾーンの位置づけとともに、今後どのように整備されていくのか伺う。

町長 この地域は農業振興地域に指定され、市街化調整区域となっており、地方自治体や農業従事者の意向、都市構造の変化に合わせて変更するのは容易ではない。国道16号

こんな質問もありました

教育の基本的骨格を問う

教育長 子供たちの生きる力の育成を目指す。

「桜」の保全について、積極的な取組みを 齋藤 成宏 議員 (民主党)

町長 新しい保全方法についても研究したい



六道山公園で行われたさくらまつり

質問 桜は、地域・世代を問わず、日本中で愛されている春の季節を代表する花である。しかし、その一方で樹木の老齢化が進み、町内でも六道山公園をはじめとした、美しい景観を継承するためには、積極的な保全の取組みが必要である。そこで町長に次の3点を伺う。

問① 樹木の老齢化の現状をどう把握しているのか。

町長 町は24年3月、六道山の桜の健康状態について、樹木医会に調査委託し、適切な維持管理に努めている。公園などの桜についても、職員が巡回するとともに委託業者からも生育状況を聞いて

問② 保全への取組みをさらに加速させるべきと考えるが。

町長 枯れ枝や病気の枝の伐採、根元の養生や補植など、積極的に取り組んでおり、今後も適切な管理に努める。

問③ 寄附や基金など新たな視点での施策展開も研究・検討すべき。

町長 草花のアダプト制度など、新しい保全の手法についても研究したい。

こんな質問もありました

いじめ防止に都とのさらなる連携強化を

教育長 都を含め、関係機関と連携し、力を尽くす。

スポーツ関連イベントへの積極的な取組みを

教育長 トップアスリートを招くなど、今後も積極的に取り組む。

アダプト制度… 市民と行政が協働で進める、新しい「まち美化活動」の意